

「力みなぎる・かごしま」の 実現に向けて

新年、明けましておめでとうございます。県民の皆様には、かねてから、県政の推進に多大な御支援・御協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

現在、我が国は、グローバル化の急速な進展や本格的な人口減少、超高齢社会の到来など大きな変革期を迎え、これまで社会を支えていた様々なシステムが見直しを求められております。他方、円高やデフレの影響など、我が国の景気や雇用情勢は依然として厳しい状況にあるところです。

このような時代の潮流に的確に対応するためには、本県が置かれている厳しい経済環境等を踏まえながら、21世紀における人類の共通課題である「環境」、「食料」、「医療・福祉」に重点を置きつつ、持続可能な行財政構造の構築や足腰の強い産業基盤の確立、高速交通体系の整備など、諸施策を積極的に進める必要があります。

このため私は、「かごしま将来ビジョン」やマニフェストに基づき、「持続可能性への挑戦」、「産業おこしへの挑戦」、「鹿児島おこしへの挑戦」の「三つの挑戦」を引き続き県政のテーマとし、子どもからお年寄りまですべての県民が生涯を通じて安心して暮らすことができ、自らの人生やふるさとに夢と誇りを持つる優しく温もりのある社会を構築するために、引き続き全力を傾注してきましたところです。

昨年は、厳しい雇用情勢に対処するための緊急雇用対策や世界自然遺産の島・屋久島でのCO₂フリーの島づくりに向けた取組のほか、世界遺産暫定リスト入りした「九州・山口の近代化産業遺産群」や島津斉彬の生誕200年の周年行事を活用した観光振興などに取り組んでまいりました。

本年は、待望の九州新幹線鹿児島ルートの中線開業がいよいよ来年春に迫る中、引き続き本県の有する多彩な魅力に一層の磨きをかけながら、全

線開業1年前のプレイベントやシンポジウムなどを開催するとともに、全線開業効果を県下全域に拡大・波及させるための各般の取組を県民の皆様とも一体となつて進めたいと考えております。

また、中国などのアジア諸国の経済発展が進む中、本県では、大隅など畑かん地区における基盤整備により、高い生産性を持った大規模畑作産地が創出されようとしております。国際的な食料事情の変化などを背景に農業の役割が見直されつつある昨今、本県農畜産物の新たな需要拡大につながる可能性を秘めているものと考えております。食品産業などの関連産業も含め、農業は本県の成長の原点でありますので、更なる農業の振興に取り組んでまいります。

このほかにも、厳しい雇用情勢に対処するため、更なる雇用創出を図つてまいりますほか、地球温暖化対策推進のための条例の制定など地球環境先進県に向けた取組、「県こども総合療育センター」の開設、鹿児島島の将来を見据えた企業誘致の展開、共生・協働による温もりのある地域社会づくりの推進など、各般の施策に取り組むこととしております。

現在、我が国全体において、大きな変革のうねりが生じている中、私は鹿児島県が持つ発展の可能性を信じ、21世紀にふさわしい「力みなぎる・かごしま」、「日本一のくらし先進県」づくりに果敢に挑戦してまいりますので、引き続き、県政に御関心をお寄せいただき、県政の改革に御支援・御協力くださるようお願いいたします。

県民の皆様にとりまして、新しい年が希望に満ちた明るい一年となりますことを心から祈念いたします。



平成二十二年元旦

鹿児島県知事 伊藤祐一郎